

9ヶ国からの研修生を迎えて！

～「インフラ施設災害対策とマネジメント」研修～

独立行政法人 国際協力機構 (JICA) が行っている研修の一環として、インドネシアなど9カ国から来日されている研修生が六甲砂防事務所を来訪されました。

六甲砂防事務所では【六甲山地での過去の土砂災害と砂防事業の取り組み】について説明し、【土石流模型実験装置を用いた土石流の実験】を見学していただきました。その後の現地視察では【砂防堰堤】と【森の世話人*活動地】を視察いただき、六甲砂防事務所が取り組んでいる砂防事業について学んでいただきました。

概要

日時：令和6年11月25日（月）13：30～16：00
場所：六甲砂防事務所／荒神山西砂防堰堤／森の世話人*活動地
主催：JICA関西
参加者数：9名（ベリーズ、チリ、インド、インドネシア、マラウイ、南アフリカ、スリランカ、東ティモール、ベトナム 計9ヶ国）

※「森の世話人」とは六甲山系グリーンベルト整備事業地において、森づくりを実施しようとするNPO、または市民団体、企業等をいいます。詳細な活動内容については、右記QRコードを参照ください。



【質疑応答】

Q：六甲山地の土地は個人の所有となっているのか？その場合、砂防堰堤を作る際はどのようにするのか？

A：個人の所有地となっていることが多いです。そのため砂防堰堤を造る際は、必要な土地を買収します。

Q：現時点566基を築造したと説明にあったが、まだ必要なのか？

A：管内にはリスクの高い箇所が多くあるため引き続き砂防堰堤を設置する必要があります。ただし、今後の人口減少推移や、多くの空き屋実情なども考慮し、優先度を踏まえて事業を進める必要があります。



【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15 TEL：078-851-0535

六甲砂防事務所ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/>

